

「通貨に関する実態調査」の概要

調査目的

- 理財局国庫課は、財務省の任務の一つである「通貨に対する信頼の維持」のために、通貨制度の企画・立案、通貨の円滑な供給、通貨の偽造・変造の防止等を行っている。
- 本調査は、
 - ・ 通貨の仕様等
 - ・ 通貨の利便性
 - ・ 記念貨幣
 - ・ キャッシュレス決済
 - ・ 通貨流通量関係等の通貨に関する国民の意識と利用実態を直接把握することを目的としており、これにより国民の意識や利用実態に即した施策を適時適切に講じることを可能とする。

調査概要

- 通貨に関する国民の意識や利用実態を把握するために必要な質問項目について、一般競争契約（最低価格）により選定した民間調査機関に対し、アンケート調査を委託。
- 委託先の民間調査機関は、全国約1,200人を対象として、戸別訪問によるアンケート調査を実施。質問項目ごとに、地域別、性別、年齢別等に集計したものを調査結果として提出する。

（参考）調査の仕様

対象者	: 全国15～79歳男女約1,200人
サンプリング	: 住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割当て
調査方法	: 調査員による訪問調査方式
集計分類	: 地域、都市規模、性別、年齢、職業、世帯年収
調査実施	: 令和4年1月27日～2月9日

令和3年度 通貨に関する実態調査 質問項目（全17問）

通貨の仕様等（3問）

- 【問1】新しい日本銀行券の認知度
- 【問2】通貨の偽造防止技術の認知度
- 【問3】通貨の汚れや傷みへの認識

通貨の利便性（4問）

- 【問4】日々の買い物や飲食店での支払いでよく使用する通貨
- 【問5】自動販売機等で返却される通貨
- 【問6】金融機関等で両替や引出しができない通貨
- 【問7】古い通貨での支払いを受けた／行った経験

記念貨幣（1問）

- 【問8】記念貨幣への関心度

キャッシュレス決済（7問）

- 【問9】日常的に利用する決済手段
- 【問10】現金での支払いを断られた経験
- 【問11】決済手段別の利用金額
- 【問12】キャッシュレス決済を利用する理由等
- 【問13】キャッシュレス決済を利用しない理由
- 【問14】キャッシュレス決済サービスに関する要望
- 【問15】今後も現金が必要となる場面

通貨流通量関係（2問）

- 【問16】現金の保有量
- 【問17】「500円玉貯金」の増加量